

# 憲法をいかし将来に希望の持てる年金を求める国会請願署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

## 【請願趣旨】

深刻な低年金や無年金問題……、非正規雇用の拡大など雇用の不安定化が、事態をより深刻にしています。高齢者だけでなく若者も将来に希望をもち、安心して暮らしていくために、年金制度の充実が必要です。

ところが、政府は、年金2.5%削減に続いて、年金をさらに毎年引き下げる「マクロ経済スライド」の実施や、支給開始年齢のさらなる引き上げなど、年金制度をいっそう悪くしようとしています。社会保障を個人の責任に変える「社会保障制度改革推進法」にもとづく論議の結果です。

こんなことでは、将来不安から内需は冷えこみ、雇用もいっそう悪くなります。雇用の安定とともに、国連からも勧告されている最低保障年金制度の創設をはじめ、すべての人が安心して暮らせる年金に改善すべきです。

## 【請願項目】

1. 最低保障年金の創設など、すべての人が安心して暮らせる年金に改善してください
2. 年金2.5%の引き下げを中止するとともに、年金を毎年引き下げるマクロ経済スライドは廃止してください
3. はたらく人々に安定した雇用を保障するとともに、年金支給開始年齢のさらなる引き上げはおこなわないでください
4. 社会保障の公的責任を放棄し、個人の責任に変える「社会保障制度改革推進法」は廃止してください。消費税の増税ではなく、大企業や富裕層に応分の負担を求めることで必要な財源を確保してください

氏名	住所

**全国労働組合総連合(全労連)**

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館4F  
TEL03-5842-5611 FAX03-5842-5620  
E-mail:webmaster@zenroren.gr.jp

**全日本年金者組合**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-60-20 天翔大塚駅前ビル  
TEL03-5978-2751 FAX03-5978-2777  
E-mail:honbu@nenkinsha-u.org

# 希望の持てる年金にしよう

深刻化する低年金・無年金問題、「暮らしていけない」と、悲鳴があがっています。非正規雇用の増大など雇用の不安定化で、事態はますます深刻になっています。

今こそ憲法をいかし、若者やすべての人が安心できる年金制度に改善する必要があります。

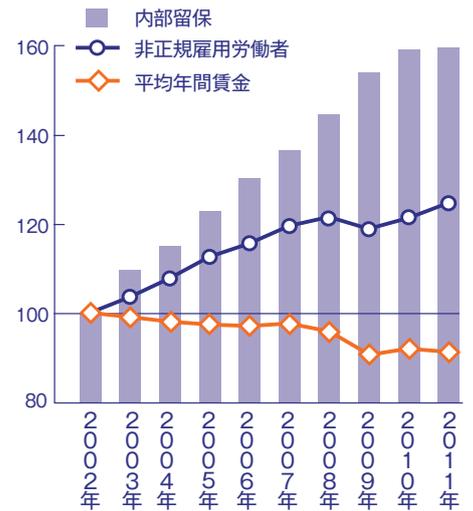
## 最低保障年金制度の創設を

最低保障年金制度の創設が待ったなしの課題です。

大企業や富裕層に応分の負担を求め、所得再分配機能を強化することで、必要な財源を確保することは十分可能です。



勤労者の給与・非正規率・大企業の内部留保の推移 (2002年を100とした場合)



# STOP! 年金大改悪・消費税増税のダブルパンチ

### 検討されている改悪案

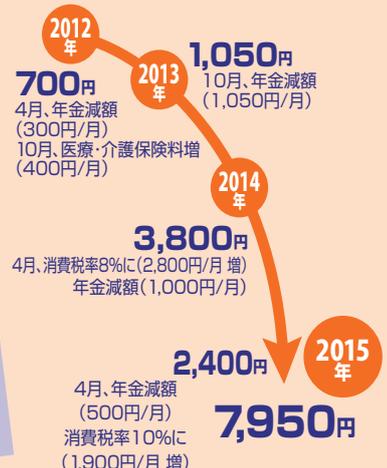
- 年金を毎年引き下げる「マクロ経済スライド」の実施
- 年金支給開始年齢の68~70歳へのさらなる引き上げ
- 年金課税強化(公的年金等控除の削減) etc.

政府はいま、年金制度のさらなる改悪を検討しています。

今でも高齢者の42%、女性では65%が年収100万円未満なのに、これ以上の改悪は絶対許せません。

2015年には高齢者の毎月の目減りは

年金月10万円75歳以上の場合  
**約7,950円**に  
 年金減額+消費税負担額+医療・介護保険料



### ひろがる「行政不服審査」のとりくみ

政府は、物価上昇の一方で、2013年10月から3年かけて2.5%も年金を引き下げようとしています。

行政不服審査のとりくみなど、全国で反対運動がひろがっています。世代を超えた連帯で、2.5%引き下げ中止を求める世論をいっそうひろげましょう。

**2.5%引き下げの中止を**